

川崎

作品展・美術展たより
～子ども達の自信に満ちた笑顔～

宮前区青少年指導員連絡協議会 会長 岸 真介

秋の“みやまえ”には子ども達による芸術の息吹が漂います。

今年で28回を迎える『宮前地区青少年作品展』は11月16日から18日までの3日間、宮前区役所を会場として開催されました。絵画、書道部門合わせて約300点の応募があり(小学生及び中学生が対象)、約500名を超える来場者に観賞して頂きました。応募作品は子ども会を通じた出品が多いのですが、最近では9月に開催される宮前地区青少年指導員会主催の絵画教室に参加した子どもたちの出品も多くなっています。

一方、45回を迎える『向丘地区青少年美術展』は11月23日から24日までの2日間、向丘小学校アリーナを会場とし開催されました。絵画、書道部門合わせて約1300点の応募があり(20歳未満の青少年が対象)、約1300名を超える来場者がありました。応募作品は、学校や書道教室など組織単位の出品が多いのが特徴です。

毎年想像力・発想力豊かな力作が並び来場者を感動さ

せます。また、子ども達は作品が展示されていることを喜び、さらに入賞した子ども達は表彰式での緊張した顔が次第に満面の笑顔に変わっていきます。

両地区とも長い歴史の中に培っているノウハウがあり、創意工夫しながら運営をしています。特に今年は準備・撤収の作業がウイークデーになり、展示会前日は夜遅くまでの作業となりましたが、子ども達の笑顔に思いをはせ取り組みました。

今後もこの作品展・美術展が、子ども達に夢と自信を与えることができ、多くの感動をもたらすものになるように願ってやみません。



【作品展・美術展】

っています！

動報告 ～

県史

今年で30回!親子ナイトウォークラリー大会

海老名市青少年指導員連絡協議会 会長 藤田 才

海老名市では、毎年7月に「親子ナイトウォークラリー大会」を開催しています。夏休みを間近に控える中、夜のまちを散策する人気のイベントで、今年で30回目を迎えます。

コースは10kmと5km。親子で語りいながら、目印や記号などが書かれたコマ地図を頼りに未知のコースを巡り、ゴールを目指します。

またスタート時には、市内の名所、旧跡や海老名市に関連した設問を配布し、歩きながら解いてもらい、ゴール時に提出してもらいます。

設定した時間(隠しタイム)にどれだけ近いかと、設問の得点を合計し、順位を決定します。

毎年、コース選びに頭を悩ませ、慌しい中で準備・運営にあたっていますが、参加者が見せる歩き終えた後の笑顔は、指導員の何よりの励みになっています。

今後も、子どもたちの笑顔を求めて、ウォークラリーをはじめ様々な活動に取り組んでいきます。



【いざ、出発!】